

2011年10月14日

各位

会社名 エルピーダメモリ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 坂本幸雄
 (コード番号 6665 東証第1部)
 問い合わせ先 取締役兼執行役員 安達隆郎
 (TEL 03-3281-1500 (代))

2012年3月期第2四半期累計期間決算速報値のお知らせ

2012年3月期第2四半期累計期間(2011年4月1日~2011年9月30日)の連結決算につきましては、10月27日に正式発表の予定ですが、決算の概数がまとまりましたので、下記のとおり速報値としてお知らせいたします。

記

1. 2012年3月期 第2四半期累計期間 連結決算速報値

(単位:億円)

	売上高	営業利益 (△損失)	経常利益 (△損失)	四半期純利益 (△損失)
2012年3月期 第2四半期累計速報値 (A)	1,600	△490	△580	△570
2011年3月期 第2四半期累計実績 (B)	3,251	679	523	399
増減額 (A-B)	△1,651	△1,169	△1,103	△969
増減率 (%)	-51%	-	-	-

(ご参考)

	売上高	営業利益 (△損失)	経常利益 (△損失)	四半期純利益 (△損失)
2012年3月期 第2四半期速報値	640	△450	△510	△490
2012年3月期 第1四半期実績	957	△38	△73	△79

2. 連結業績変動の主たる要因

当第2四半期累計期間の売上高は、PC（パソコン）向け DRAM の需要低迷による販売価格の下落及び円高の影響により、前年同期比で大幅な減少となる見込みです。また、コスト低減を最大限に進めたものの、上記理由に加え多額の棚卸資産評価損を計上したことにより、損益については大幅な赤字となる見込みです。

当第2四半期会計期間（2011年7月1日～2011年9月30日）につきましては、出荷ビットは8月8日発表のガイダンス「前四半期比約10%増加」を上回り16%増加となりましたが、DRAM 平均販売価格が前四半期比37%下落と大幅に低下したこと及び円高が進行したことにより、前四半期比で減収となり、損失額も拡大する見込みです。

以上

本決算速報に記載されている情報は、当社が当資料発表時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提を元に作成したものであり、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

当社グループの製造・販売する DRAM 製品は価格変動が激しく、将来の市況を適格に予想することが困難であるため、当社は従来業績予想を開示しておりません。

<報道関係からのお問い合わせ先>

エルピーダメモリ株式会社
パブリックリレーションズグループ
広報担当 中島・齋藤・鶴巻
TEL : 03-3281-1500
E-mail : press@elpida.com